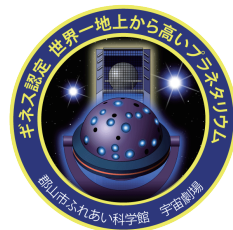


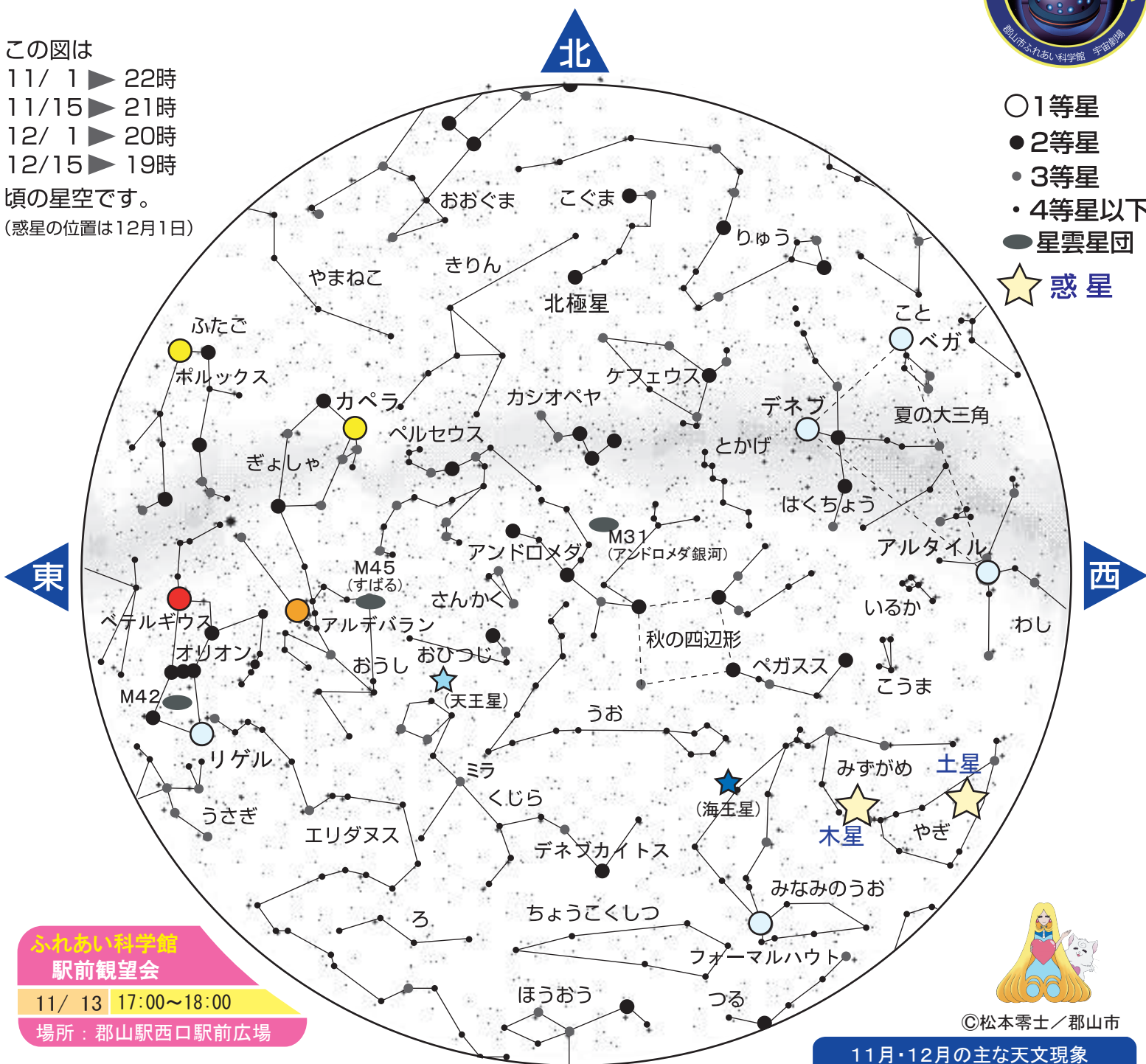
2021年

11月▶12月の星空



- 1等星
●2等星
●3等星
●4等星以下
●星雲星団
★惑星

この図は
11/ 1 ▶ 22時
11/15 ▶ 21時
12/ 1 ▶ 20時
12/15 ▶ 19時
頃の星空です。
(惑星の位置は12月1日)



ふれあい科学館
駅前観望会

11/ 13 17:00~18:00

場所：郡山駅西口駅前広場



©松本零士／郡山市

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け		
11/ 1	6:03	16:41	新月	11/ 5, 12/ 4	
11/15	6:17	16:29	上弦	11/11, 12/11	
12/ 1	6:33	16:21	満月	11/19, 12/19	※上弦、下弦は半月です。
12/15	6:45	16:22	下弦	11/27, 12/27	※天王星、海王星は肉眼では見えません。

11月・12月の主な天文現象

11/19	部分月食
12/ 4	金星最大光度
12/14	ふたご座流星群が極大
12/22	冬至

寒さが増し、ひんやりとした空気が身をまとう時季となりました。今回はこの2か月の間に起こる2つの天文現象をご紹介します。

まず11月19日の部分月食です。月食は地球の影に月が入り込むことで月が欠けて見える現象です。今回は月の一部が欠ける部分食となりますが、月のほとんどが地球の影に入り込むため、見ごたえのあるものになるでしょう。16時18分に部分食が始まり、食の最大は18時2分、部分食の終りが19時47分と比較的観察のしやすい時間帯となります。今回は東の空の低いところで食が始まりますので、高い建物がなければ、観察する場所を事前にチェックしておくで安心です。今年は5月に皆既月食がありましたが、郡山ではあいにくのお天気で見られませんでした。晴れた時には、ぜひこの11月の月食を観察してみてください。

次に、12月14日はふたご座流星群が極大を迎えます。月明かりの影響を避けるため、月が沈んでから明け方にかけての観察がおすすめです。極大となる14日に空の暗い場所で観察した場合は、1時間に40個ほどの流星数になると予想されています。空の広い範囲を見渡し、暗いところに目を慣らすために15分ほど観察を続けてみてください。寒さが厳しい時期となりますので、しっかりと防寒対策をしてお楽しみください。

